

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	病理学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	前期 2限	教室名	702室
担 当 教 員	北野 富美雄				
実務経験とその関連資格	八尾徳洲会総合病院に25年間、薬剤師として勤務。 ①臨床薬剤師に従事。院内臨床カンファレンスでの入院患者服薬状況、副作用の報告 薬品情報提供 ②他職種 (医師 看護師 言語聴覚士 作業療法士 理学療法士) に対しての薬物療法(副作用 注意点) ③院内処方箋による外来調剤 (外来患者)、入院調剤 (入院患者) ④服薬指導 (入院・外来患者に対して薬の用法、用量の説明、副作用チェック、医師への報告など) ⑤薬品の品質管理 (麻薬、劇薬、毒薬 冷暗所保存薬 普通薬について厳格な管理) ⑥新薬臨床治験・研究 医薬品臨床治験実施基準に従い、新薬の効果、副作用の調査、審査 ⑦医薬品の再評価・審査 認可された薬品において医薬品医療機器等法に基づく再審査、再評価の実施 ⑧地域住民に対する健康講座に参加 週2回 疾病にならないための指導、講演の実施				
《授業科目における学習内容》 病理学では基礎医学(解剖学 生理学 など)の1つである。臨床医学、専門医学の理解の土台となる。病気になった臓器、組織、細胞がどのように変化していくのか形態的、機能的にみる必要がある。具体的に、病変(進行性 退行性) 循環障害(血栓 塞栓 出血 浮腫など) 炎症、免疫異常、アレルギー疾患、自己免疫疾患、感染症、遺伝子異常、腫瘍(良性 悪性)などを修得する。国家試験に出題されているので国家資格の取得にも関与できる。					
《成績評価の方法と基準》 本試験の点数を成績評価とする。100点満点 60点以上で合格とする。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》 言語聴覚士国家試験問題					
《授業外における学習方法》 講義の前後につながりがあるので、前回の練習問題を確認してほしい。					
《履修に当たっての留意点》 わからないところがあれば、遠慮なく質問してほしい					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	循環障害 血栓 梗塞 塞栓 出血 充血 うっ血 虚血 浮腫 などが理解できる		教科書 配布プリント	循環障害の予習
	各コマにおける授業予定	循環障害である充血、うっ血、出血 血栓、塞栓、梗塞、浮腫などについて学ぶ。循環障害の例として狭心症、心筋梗塞、TIA、脳梗塞、脳出血、肺塞栓症などを学ぶ			
第2回	授業を通じての到達目標	病変(進行性病変、退行性病変)・老化現象が理解できる		教科書 配布プリント	循環障害の復習と病変の予習
	各コマにおける授業予定	病変(進行性病変、退行性病変) 進行性病変は再生、化生、肥大、過形成、退行性病変では変性、萎縮、壊死について、また老化現象では中枢神経、循環器、呼吸器、消化器、泌尿器などについて学ぶ			
第3回	授業を通じての到達目標	炎症(発赤、腫脹、熱感、疼痛、機能障害)・免疫が理解できる		教科書 配布プリント	病変の復習と炎症・免疫の予習
	各コマにおける授業予定	炎症(発赤、腫脹、熱感、疼痛、機能障害)について。生物学的 物理学的 化学的因子、急性炎症、慢性炎症について 免疫では免疫の基本事項、免疫細胞、能動免疫、受動免疫 ワクチンについて学ぶ			
第4回	授業を通じての到達目標	感染症が理解できる		教科書 配布プリント	炎症・免疫の復習と感染症の予習
	各コマにおける授業予定	感染症成立条件 病原微生物 感染源 感染経路 感染対策 ウイルス感染症 細菌感染症 原虫感染症 真菌感染症 寄生虫について学ぶ			
第5回	授業を通じての到達目標	アレルギー疾患(Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型)が理解できる		教科書 配布プリント	感染症の復習とアレルギー疾患の予習
	各コマにおける授業予定	Ⅰ型アレルギー疾患では気管支喘息など、Ⅱ型アレルギー疾患では重症筋無力症 血液型不適合輸血など、Ⅲ型アレルギー疾患では慢性関節リウマチ SLE等、Ⅳ型アレルギー疾患はツベルクリン反応等について学ぶ			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	先天性遺伝子病(性染色体数の異常 常染色体数の異常) 先天性奇形が理解できる	教科書 配布プリント	アレルギー疾患の復習と先天性性遺伝子病、先天性奇形の予習
	各コマにおける授業予定	細胞 ミトコンドリア 核 染色体 DNA RNAについて。性染色体数の異常 常染色体数の異常 常染色体優性遺伝 常染色体劣性遺伝 伴性劣性遺伝 ミトコンドリア遺伝子病 先天性奇形について学ぶ		
第 7 回	授業を通じての到達目標	腫瘍(悪性腫瘍と良性腫瘍)が理解できる	教科書 配布プリント	先天性遺伝子病の復習と腫瘍の予習
	各コマにおける授業予定	悪性腫瘍と良性腫瘍の違い。発育形式 転移 発育速度 周囲の境界 分化度 手術後の再生 癌腫(上皮性)と肉腫(非上皮性)の違い。化学的、物理的、ウイルスによる癌 前癌状態。進行判定について学ぶ		
第 8 回	授業を通じての到達目標	自己免疫疾患が理解できる	教科書 配布プリント	腫瘍の復習と自己免疫疾患の予習
	各コマにおける授業予定	全身エリテマトーデス(SLE)、慢性関節リウマチ(RA) 強皮症、多発性筋炎、シェーグレン症候群、ベーチェット病 結節性多発動脈炎、重症筋無力症の原因、症状について学ぶ		